

5月21日
聖徒伝 226

主を恐れ、
主に従い、
用いられよう

エレミヤ書 5章

エルサレムの罪と裁き

アウトライン

0. イントロダクション

I. エルサレムの罪 5:1~17

II. 滅びにいたる罪の宣告 5:18~31

III. まとめと適用

主を恐れ、

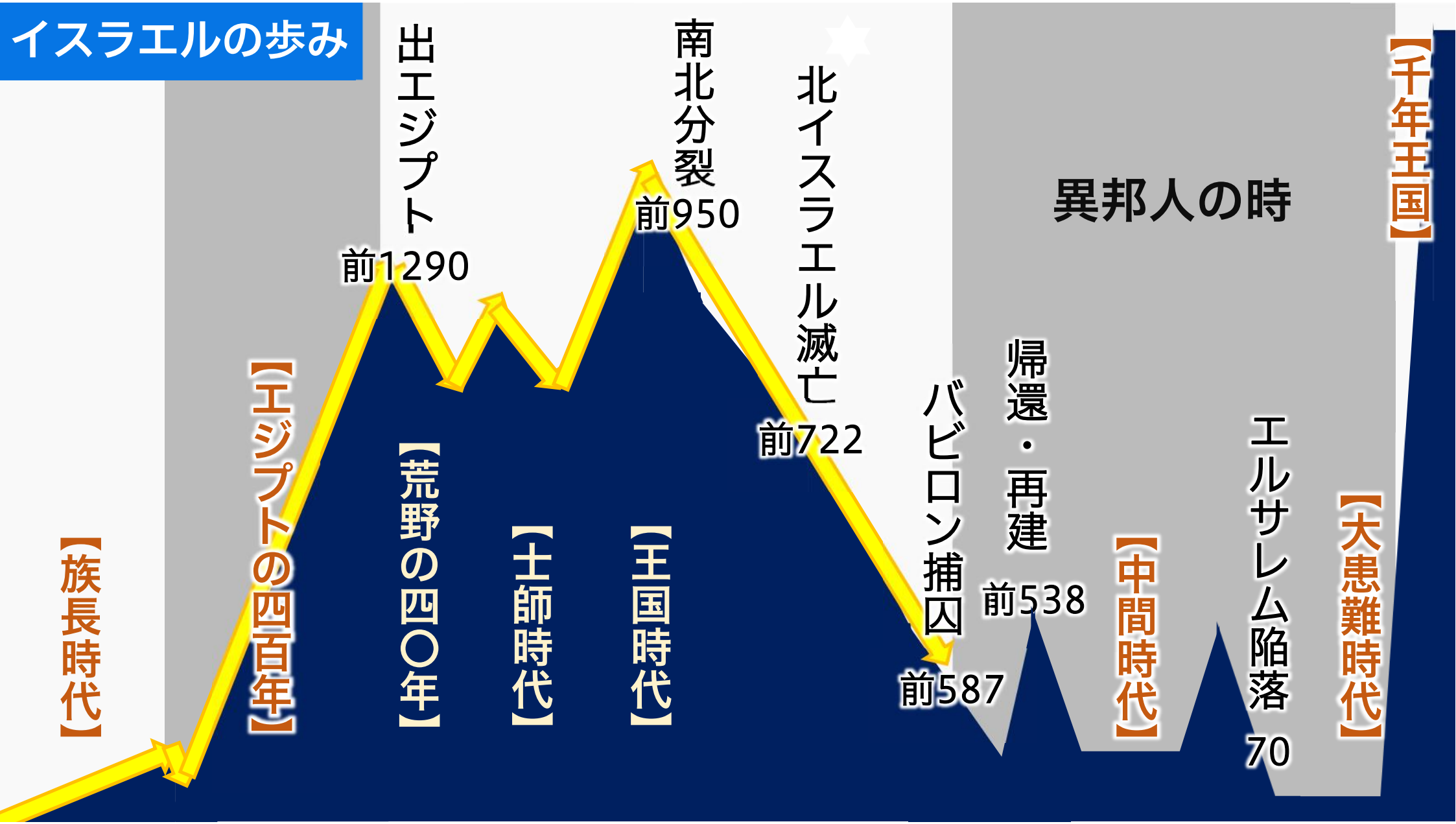
主に従い、用いられよう



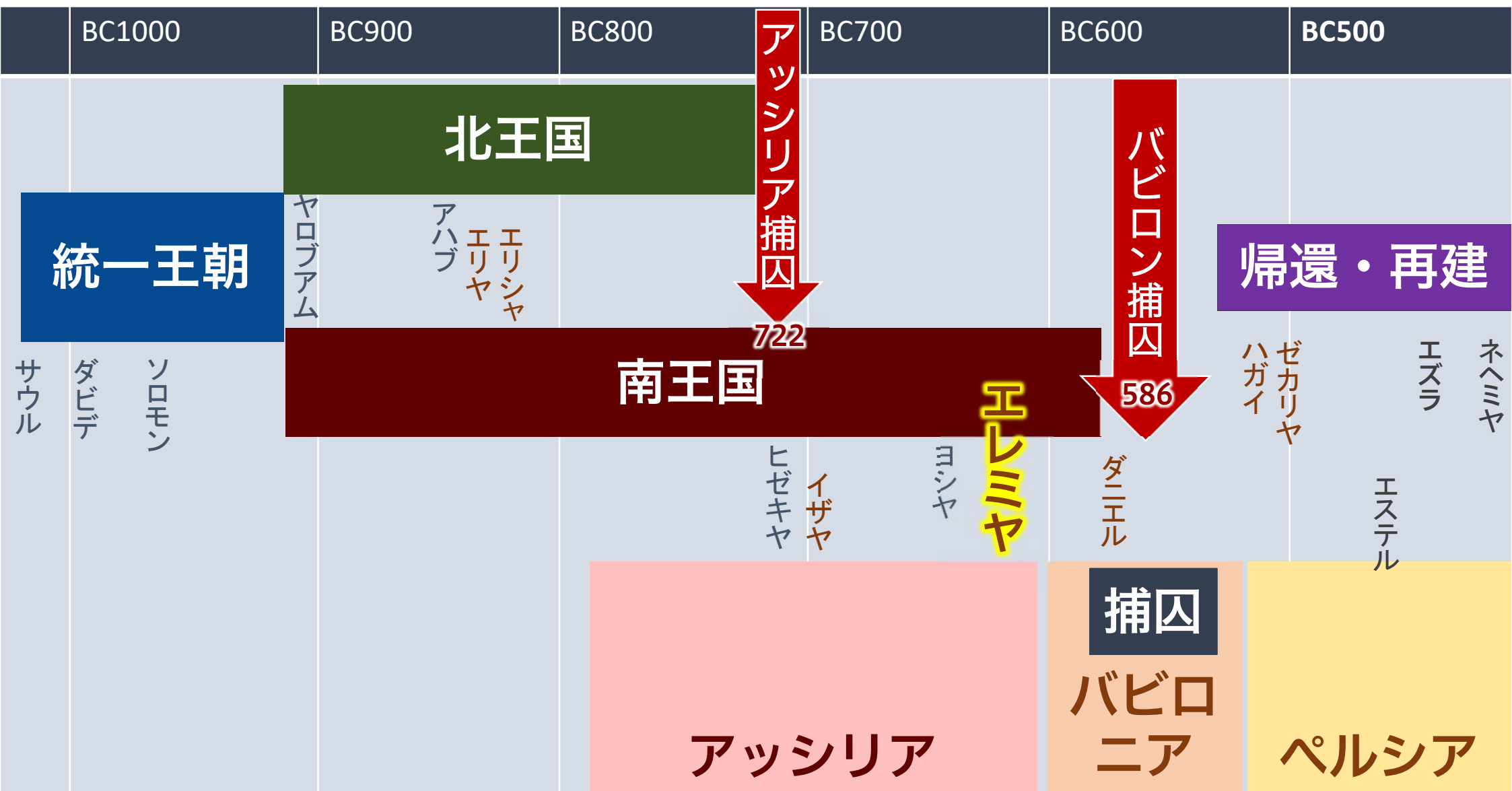


0. イントロダクション

イスラエルの歩み



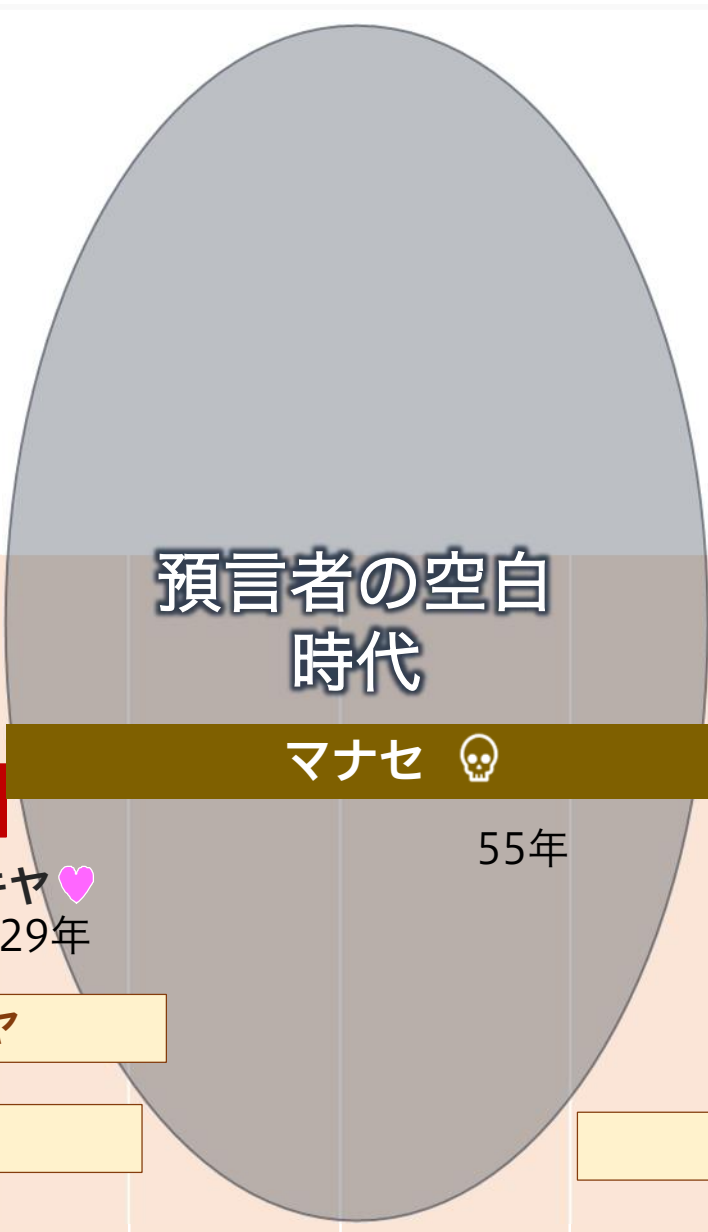
イスラエル王国史



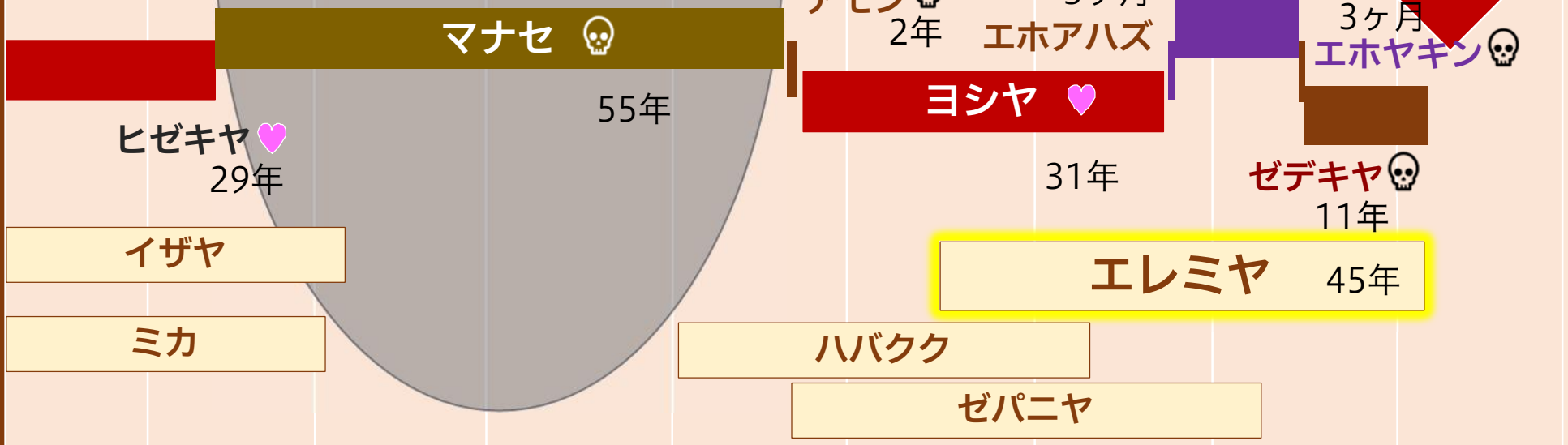
北王国
イスラエル

アッシリア捕囚
BC722年

南王国
ユダ



バビロン捕囚



エレミヤが召命された時代

- 最悪の王マナセの暴虐の結果、南王国の滅亡は決定的!!
- 次代のヨシヤは、最後の善王。宗教改革を実施。
 - ➔ 南王国の滅亡は確定。覆すことはできない
- ヨシヤ王の死後は、めまぐるしく王が入れ替わり、ついにバビロニアの侵略、滅亡 ➔ **バビロン捕囚**

ヨシヤ王の宗教改革の裏で、民の信仰の実態は？



I. エルサレムの罪

エレミヤ5:1~17 第1~4連

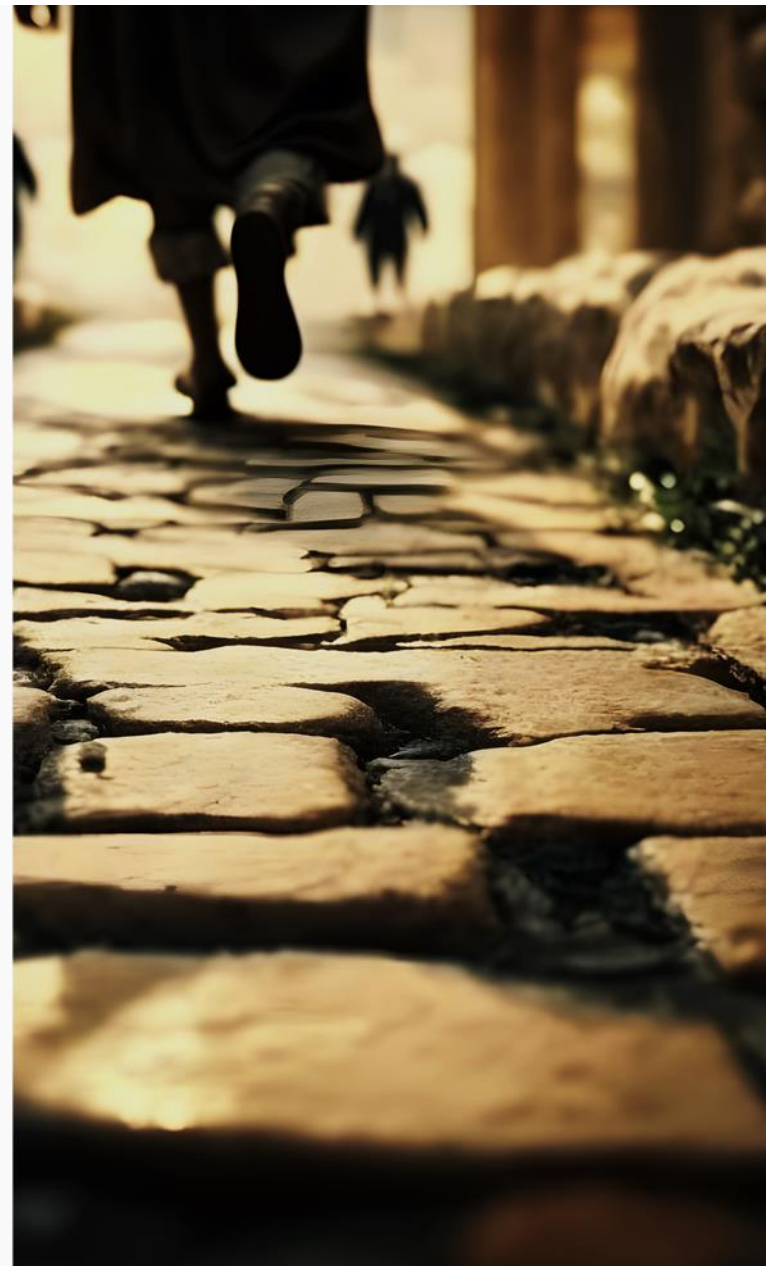
エルサレム

①問答 真実を求める者 エレミヤ5:1~2

「エルサレムの通りを歩き巡り、さあ、見て知るがよい。その広場を探し回って、もしも、だれか公正を行う、真実を求める者を見つけたなら、わたしはエルサレム*を赦そう。

彼ら*が、【主】は生きておられる、と言うからこそ、彼らの誓いは偽りなのだ。」

*彼ら = エルサレムの民



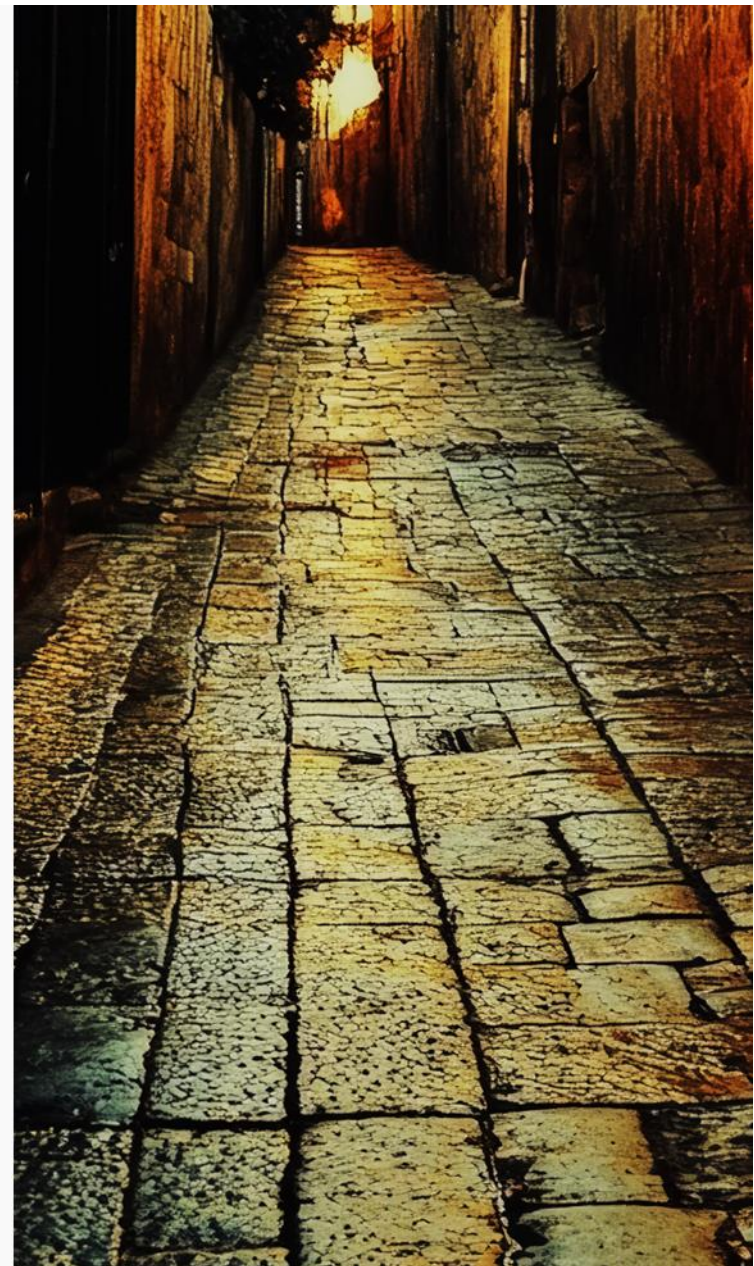
①問答 エレミヤの返答 エレミヤ5:3

「【主】よ、あなたの目は真実に届かないのでしょうか*。あなたが彼らを打たれたのに、彼らは痛みもしませんでした。絶ち滅ぼそうとされたのに、彼らは懲らしめを受けることを拒みました。彼らは顔を岩よりも硬くして、立ち返ることを拒みました。」

*反語(…そんなことはありません)

➡主は、真実を知っておられる方。

■主の問いは肯定して受け入れるしかない。
エルサレムの民の罪を認めるエレミヤ。



②探索 愚かな民 エレミヤ5:4

私は思った。「彼ら*は、卑しい者たちにすぎない。しかも愚かだ。【主】の道*も、自分の神のさばき*も知らない。」

*エルサレムの民衆

*モーセの律法



②探索 砕かれたくびき エレミヤ5:5

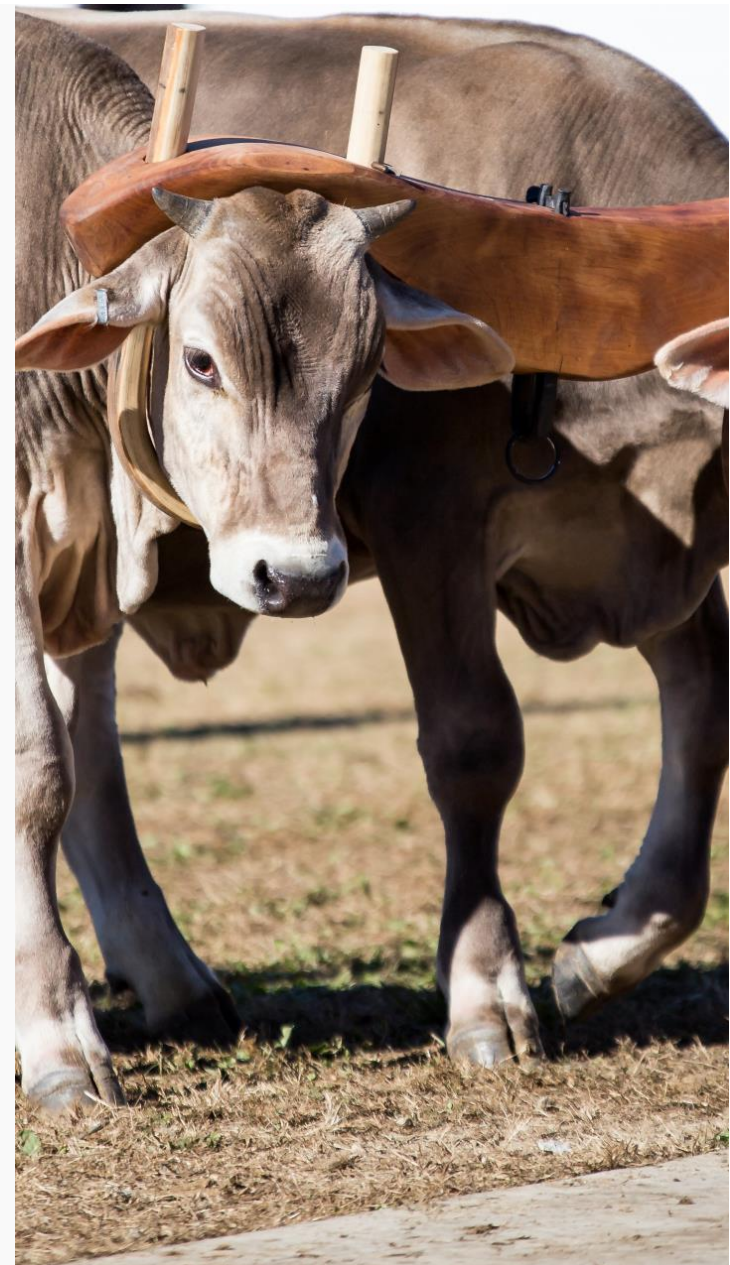
「だから、身分の高い者たちのところへ行って、その人たちと語ろう。彼らなら、【主】の道も、自分の神のさばきも知っているから」と。ところが彼らもみな、くびきを砕き、かせを断ち切っていた*。

*主の支配を逃れた不従順(エレミヤ2:20)

■神のくびきか？ 悪魔のかせか？

「わたしのくびきは負いやすく、わたしの荷は軽いからです。マタ11:30」

➡どちらのくびきか？ 二者択一



②探索 背信の末路 エレミヤ5:6

そのため、森の獅子*が彼らを殺し、荒れた地の狼*が彼らを荒らす。豹*が彼らの町々をうかがい、町から出る者をみなかみ裂く。彼らは背くことが多く、その背信がすさまじいからだ。

*猛兽 = イスラエルを苦しめる様々な帝国



③告発 いなくなき民 エレミヤ5:7~8

「これでは、どうして、あなたを赦すことができるだろうか。あなたの子ら*はわたしを捨て、神でないものによって誓っていた。わたしが彼らを満ち足らせると、彼らは姦通し、遊女の家で身を傷つけた。

彼らは、肥え太ってさかりのついた馬のように、それぞれ隣の妻を慕っていなくなき。」

*イスラエルの代々の子孫たち。



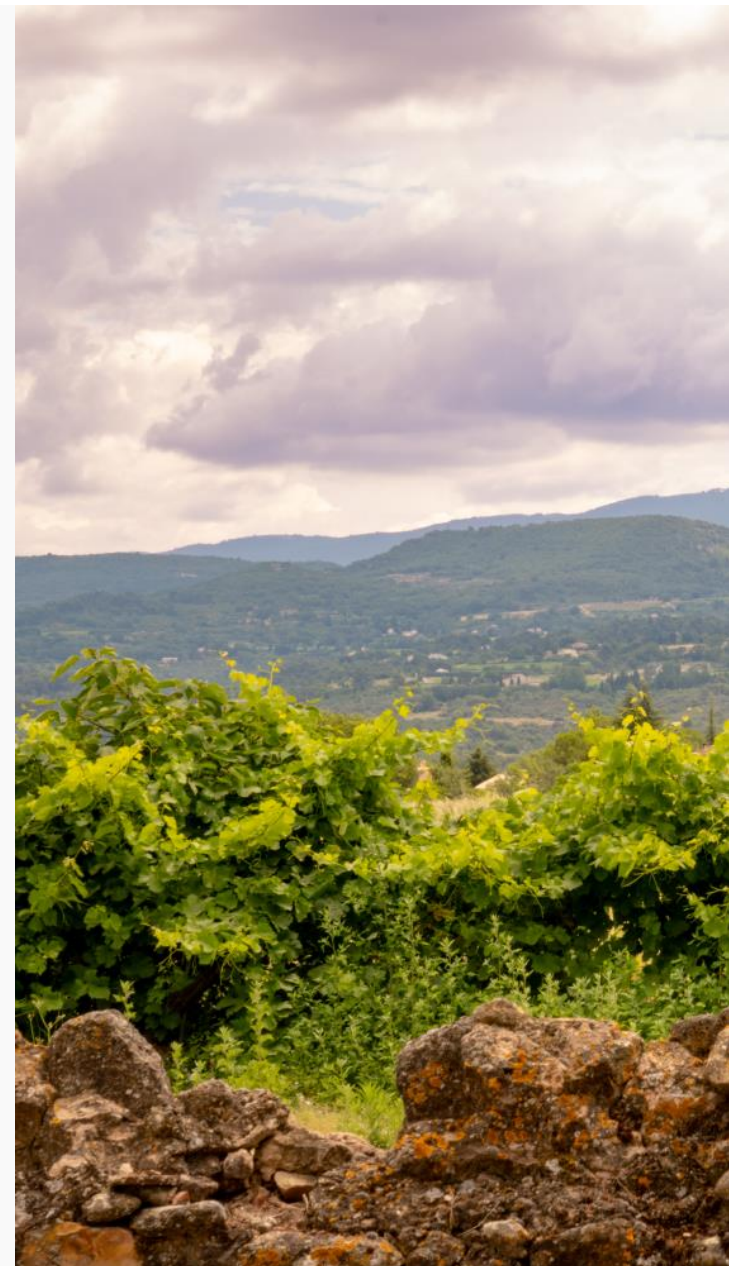
③告発 主の復讐 エレミヤ5:9~10

これらについて、わたしが罰しないだろうか。
——【主】のことば——このような国に、わたしが復讐しないだろうか。

ぶどう畑*の石垣に上り、それをつぶせ。ただ、根絶やしにしてはならない。そのつるを
除け。それらは【主】のものではない*からだ。

*イスラエルの象徴

*神の所有ではない。 ➡見捨てられた神の民

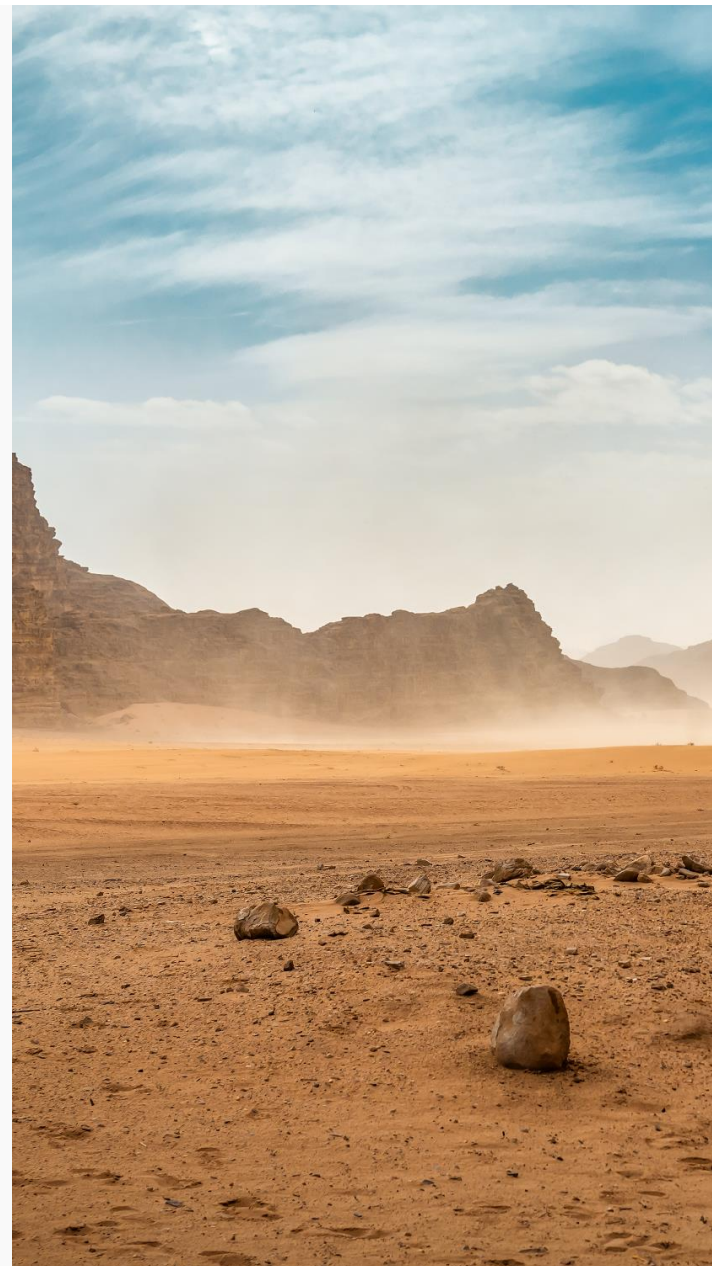


③告発 民の裏切り エレミヤ5:11~13

実に、イスラエルの家とユダの家は、ことごとくわたしを裏切った。—【主】のことは—
彼らは【主】を否定してこう言った。『主は何もしない。わざわいは私たちが襲わない。剣も飢饉も、私たちは見ない』と。

預言者たちは風になり*、彼らのうちにみことばはない。彼らはそのようにされればよい。」

*むなしさの象徴…「私は、日の下で行われるすべてのわざを見たが、見よ、すべては空しく、風を追うようなものだ。伝道者1:14」



④ 宣告 火となる御言葉 エレミヤ5:14

それゆえ、万軍の神、【主】はこう言われる。
「あなたがたがこのようなことを言ったので、
見よ、わたしはあなたの口にあるわたしのこ
とばを火とする*。この民は薪となり、火は彼
らを焼き尽くす。」

*口だけで、律法を唱えていた偽善者たち。

➡口にしてきた御言葉によって裁かれる

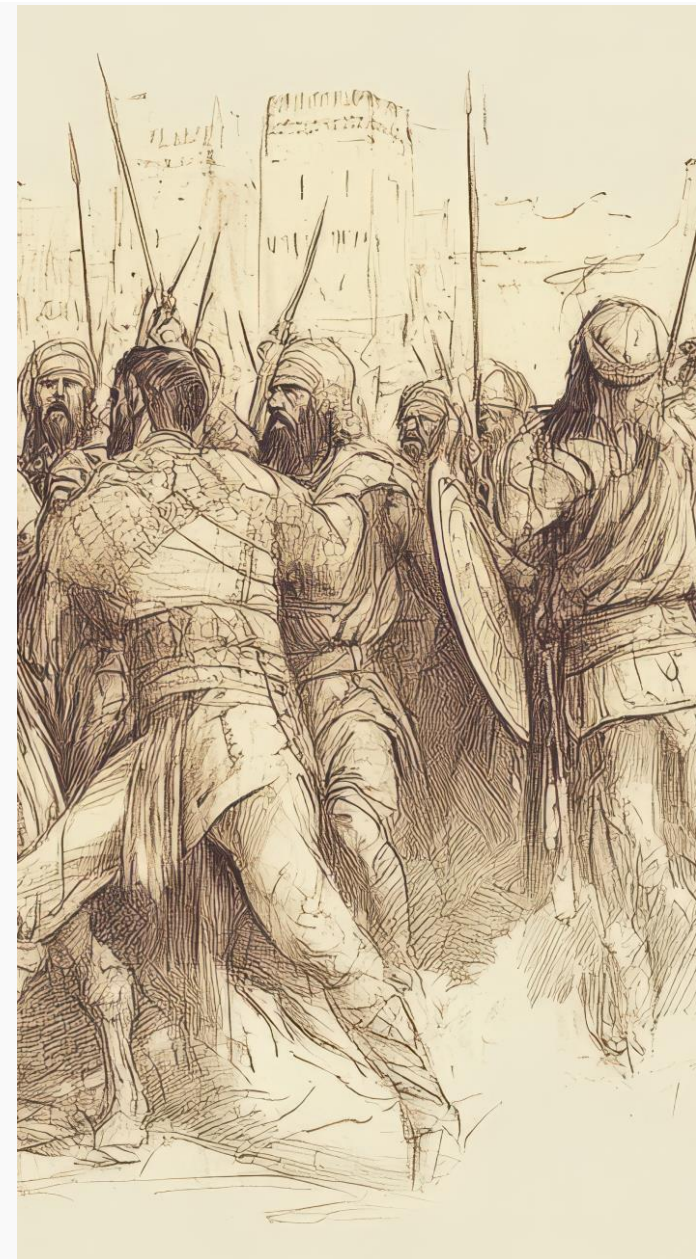


④ 宣告 遠方からの侵略者 エレミヤ5:15

イスラエルの家よ。見よ。わたしはあなたがたを攻めるために、遠くの地から一つの国を来させる*。—【主】のことば—それは古くからある国、昔からある国*、その言語をあなたは知らず、何を話しているのか聞き取れない国。

*南王国を滅ぼす、バビロニア。

*バビロニアの歴史は古い(BC3200年頃まで)
バビロン捕囚は、第11王朝(新バビロニア)



④ 宣告 徹底的な破壊 エレミヤ5:16~17

その矢筒は開いた墓のよう。彼らはみな勇士たち。

彼らは、あなたの収穫とパンを食らい、あなたの息子と娘を食らい、羊の群れと牛の群れを食らい、ぶどうといちじくを食らい、あなたが拠り頼む城壁のある町々を剣で打ち破る。

- バビロン捕囚により、エルサレムは、神殿も含めて、徹底的に破壊される。





II. 滅びにいたる罪の宣告 エレミヤ5:18~31 第5~7連

神殿の丘とオリーブ山

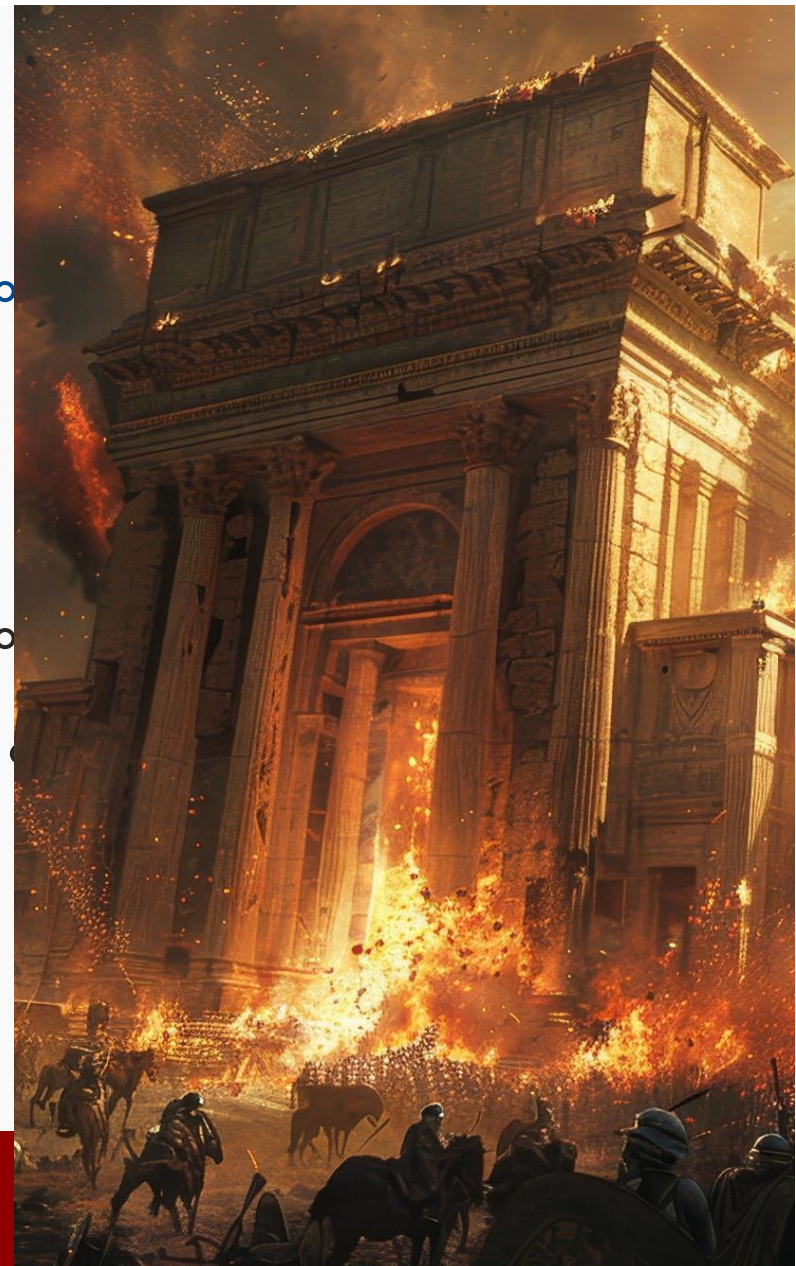
⑤ 恩情 主の憐れみ エレミヤ5:18

しかし、その日*にも—【主】のことば—わたしはあなたがたを滅ぼし尽くすことはない。

*バビロン捕囚。

■ 神殿も破壊され、都の多くの人々は虜囚に。
それでも70年、異国の地で生かされ続けた。

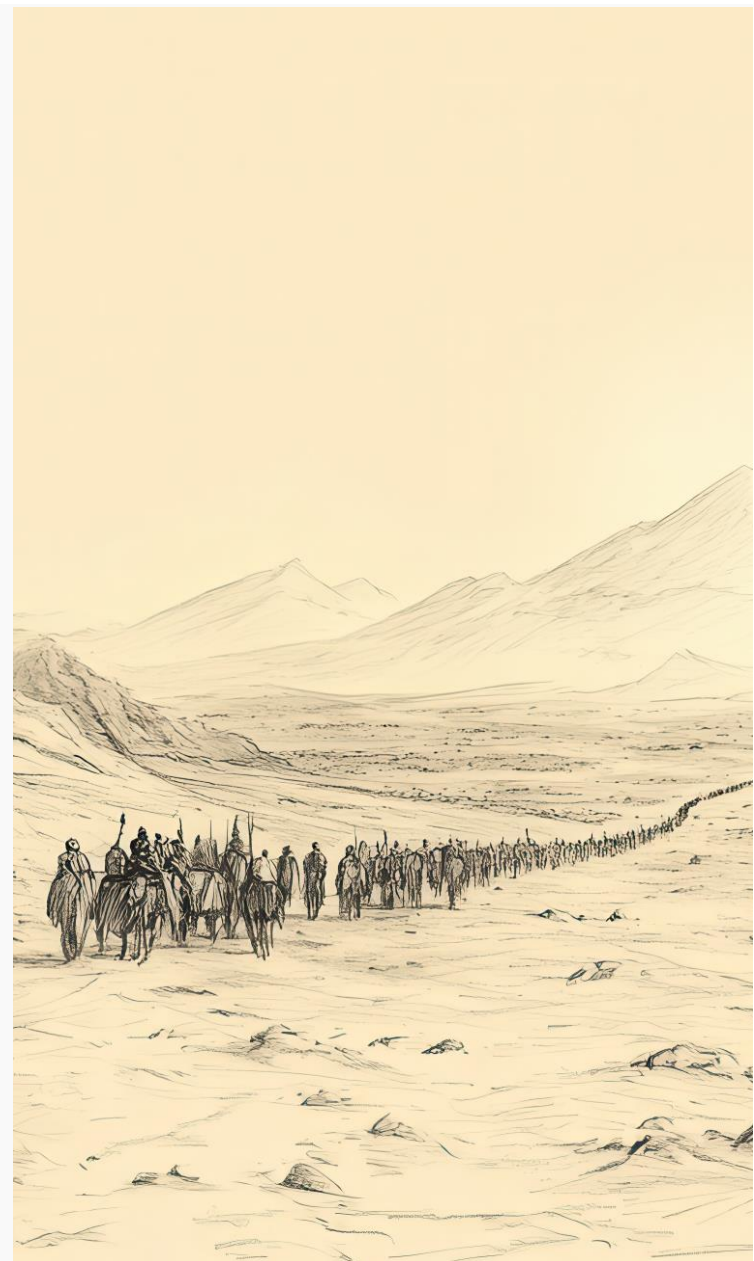
永遠の約束がイスラエルを守り続けた



⑤ 恩情 報いとしての裁き エレミヤ5:19

「われわれの神、主は、何の報いとして、これらすべてのことを私たちにしたのか」と尋ねられたら、あなたは彼らにこう言え。「あなたがたが、わたしを捨て、自分の地で異国の神々に仕えたように、あなたは自分の地ではない地で、他国の人に仕えるようになる。」

■ バビロン捕囚は、長年の偶像礼拝の報い



⑥罪状 主の御告げ エレミヤ5:20～21

ヤコブの家にこれを告げ、ユダに言い聞かせよ。
さあ、これを聞け。愚かで思慮のない民よ。彼らは目があっても見ることがなく、耳があっても聞くことがない。

■ イザヤ、エゼキエル(43:8)にも

「目があっても見えない民、耳があっても聞こえない者たちを連れ出せ。イザヤ43:8」



⑥罪状 主は恐るべき方 エレミヤ5:22

あなたがたは、わたしを恐れないのか*。 —

【主】のことは—わたしの前で震えないのか。
わたしは砂浜を海の境とした*。それは永遠の境界で、越えることはできない。波が逆巻いても勝てず、鳴りとどろいても越えられない。

*主への恐れのが、罪の根っこにある

*海は、罪に対する裁きの象徴

■大洪水で世界を滅ぼした神は、大洪水で再び世界を滅ぼすことはないと言われた。



裁きの爪痕に
生かされた人類

⑥罪状 民の心の頑なさ エレミヤ5:23

しかしこの民には、強情で逆らう心*があった。
それで彼らは離れて行った。

*強情 = “うなじを堅くする”

強情で逆らう子が、父母の懲らしめも無視

➔最終的には長老が裁き、死罪(申21:18)

■荒野でも主に逆らい続けた民(申9:7)

「エジプトの地を出た日からこの場所に来るまで、あなたがたは【主】に逆らい続けてきた」



⑥罪状 感謝の欠如 エレミヤ5:24

彼らは心の中でさえこう言わなかった。
『さあ、私たちの神、【主】を恐れよう。主は大雨を、初めの雨と後の雨*を、時にかなって与え、刈り入れのために定められた数週を守ってください』と。

- *イスラエルの雨期の始めと終わりに降る雨
 - ➔種蒔きの時と、収穫前の実りの時期
- 約束の土地で生かされながら、主への感謝もない状態に。



⑥罪状 恵みの拒絶 エレミヤ5:25～26

あなたがたの咎がこれを追いやり*、あなたがたの罪がこの良いものを拒んだ*のだ。

それは、わが民のうちに悪しき者たち*がいるからだ。彼らは野鳥を捕る者のように待ち伏せし、罟を仕掛けて人々を捕らえる。

*裁きの原則 →主を拒んだので拒まれる

*“罪を犯した者、神を欺く者”

→罪と裁きが確定したのが悪魔・サタン



⑥罪状 悪の富 エレミヤ5:27~28

鳥でいっぱい鳥かごのように、彼らの家は欺きで満ちている。だから、彼らは大いなる者となり、富む者となる。

彼らは肥えてつややかになり、悪事において限りがない。孤児のために正しいさばきをして幸いを見させることをせず、貧しい人々の権利を擁護しない*。

*律法の精神に反する行為

「申24:17 寄留者や孤児の権利を侵してはならない。やもめの衣服を質に取ってはならない」



⑥罪状 復讐される神 エレミヤ5:29

これらに対して、わたしが罰しないだろうか。
——【主】のことば——このような国に、わたしが復讐しないだろうか。

*反語 →当然、神は罰し、復讐される

■義なる神は、悪を見過ごしにはされない。
神の怒りを免れる者は、一人もない。

究極の裁き主は、再臨のメシア
主イエス・キリスト



⑦宣告 終わりの時に エレミヤ5:30~31

荒廃とおぞましいことが、この地に起こっている。

預言者は偽りの預言*をし、祭司は自分勝手に治め*、わたしの民はそれを愛している*。結局*、あなたがたはどうするつもりなのか。」

*すべては、人間の欲望に都合のよいもの

➔究極の偶像とは、自分自身

*終わりには(口語)、果て(新共)、末(第三)



イスラエルの真の回心は、世の終わり、大艱難の最後



Ⅲ. まとめと適用

主を恐れ、主に従い、用いられよう

神殿の丘とオリーブ山

露わにされた、ヨシヤ王時代のエルサレムの現実

- 律法に立ち返り、各地の偶像を破壊したヨシヤ王の宗教改革。
- しかし、エルサレムでエレミヤが目にしたのは悲惨な実態。裁きを覆せるほどの信仰者を見いだすことはできなかった。
- ヨシヤ王の周囲が、偽善者たちで固められていたなら、王とエレミヤの接点がないことも理解できる。
- マナセ王の破壊から、真の信仰回復にはいたらなかった。

列挙された、エルサレムの罪

- 律法のくびきを破った。
- 主を捨て、偶像を拝んだ。
- 度重なる警告を無視し、悔い改めを拒んだ。
- 弱者を食い物にし、悪の道に誘い込んだ。
- 主への恐れを失い、あらゆる悪事を重ねた。

エルサレムに下される裁き

- 人々がなお口にしている律法による裁き。
- 遠方の昔からの国、バビロニアによって滅ぼす。
 - ➔ バベルの塔。大バビロン。人類の罪を象徴する町。
- 捕囚され、他国で、異国の神々に仕える。

【裁きの原則】 ➔ 主を拒んだゆえに、主に拒まれる

エルサレムに、なお残された希望

- 主は、滅ぼし尽くすことはない。やがて捕囚からの解放の時が。
- 憐れみの根拠が、主の一方的な恵みの約束。
 - ★**アブラハムへの約束**(創世記12:1～3)
 - …①土地、②繁栄、③メシア
 - ★**モーセへの約束**(申命記28:36～37)
 - …罪による占有権の喪失。所有権は残る。
- 世の終わりの大艱難を経て、民族的回心 → **神の王国**を相続

預言され、約束された、イスラエルの最終的回復

■ 申命記

30:1 私があなたの前に置いた祝福とのろい、これらすべてのことがあなたに臨み、あなたの神、【主】があなたをそこへ追い散らしたすべての国々の中で、あなたが我に返り、

30:2 あなたの神、【主】に立ち返り、私が今日あなたに命じるとおりに、あなたも、あなたの子どもたちも、心を尽くし、いのちを尽くし、御声に聞き従うなら、

30:3 あなたの神、【主】はあなたを元どおりにし、あなたをあわれみ、あなたの神、【主】があなたを散らした先の、あらゆる民の中から、再びあなたを集められる。

30:4 たとえ、あなたが天の果てに追いやられていても、あなたの神、【主】はそこからあなたを集め、そこからあなたを連れ戻される。

預言され、約束された、イスラエルの最終的回復

■ 申命記

30:5 あなたの神、【主】はあなたの先祖が所有していた地にあな
たを導き入れ、あなたはそれを所有する。主はあなたを幸せにし、
先祖たちよりもその数を増やされる。

30:6 あなたの神、【主】は、あなたの心と、あなたの子孫の**心に**
割礼を施し、あなたが心を尽くし、いのちを尽くして、あなたの
神、【主】を愛し、そうしてあなたが生きるようにされる。

30:7 あなたの神、【主】はあなたの敵に、あなたを迫害した、あ
なたを憎む者たちに、これらすべてののろいを下される。

30:8 あなたは再び【主】の御声に聞き従い、私が今日あなたに命
じる主のすべての命令を行うようになる。

私たち異邦人の希望の礎

■ 神の選びの民すら、偶像礼拝に陥り、神の法に背き続けた。

ましてや、私たち異邦人は、どれほどの罪の中にあることか。

「さて、あなたがたは自分の背きと罪の中に死んでいた者であり、かつては、それらの罪の中にあってこの世の流れに従い、空中の権威を持つ支配者、すなわち、不従順の子らの中に今も働いている霊に従って歩んでいました。エペソ2:1~2」

■ 主イエスの十字架と復活を信じて救われ、恵みに接ぎ木された。

心に聖霊の証印が押され、永遠に神の所有とされた。

厳しい裁きの学びがもたらす、真の幸いとは？

- 預言者も主イエスも何度も告げた、厳しい裁きの宣告。
向き合って学ぶことができるのは、**救いの確信**があるからこそ。
- ただ信じて救われ、永遠に神の所有とされた。
消えることのない**聖霊の証印**が、私の心に押されている。
- 裁きの預言を学んでいく、この課程そのものが、
私の**救いの確信**を強め、さらなる使命へ、私を押し出す。

★ 主を恐れ、主に従い、用いられよう ★

- 厳粛な裁きの宣告を前に、主を恐れ、御前にひれ伏そう。
主への恐れが知恵の始め。私たち信仰者の歩みを後押しする。
- 打ち砕かれた身は、主にゆだねるほか、道はない。
恵みによって生かされている、主の憐れみと愛が染み渡る。
- 主の命令に従い、歩んでいこう。私の思いなど、関係ない。
できる、できない、得意、不得意も、人間中心の価値観だ。
主が欠けだらけの私を用い、驚くべき御業を成し遂げられる。

てん とう つみ
「天のお父さま。わたしの罪をゆるしてください

わたしは、神のみ子イエス・キリストが、

①わたしの罪を贖うために十字架で死に、

②墓に葬られ、

③三日目に復活したこと、を信じます。

信仰により、恵みにより、私は主の救いの約束に接ぎ木されました。

イスラエルを守り続ける永遠の契約に、私も支えられています。

私の心に焼き付けられた聖霊の証印は、消えることはありません。

救いの確信をもって、私を遣わし、主の使命に用いてください。

主イエス・キリストのみ名によって祈ります。 アーメン」